

平成26年度
入学試験問題（第一回）

国
語

注意事項

- ※ 問題冊子は18ページまであります。
- ※ 試験時間は50分です。
- ※ 開始の合図があるまで開かないこと。
- ※ 答えは全て解答用紙に書くこと。
- ※ 句読点やカギカッコは一字と数えること。
- ※ ページが抜けていたり、印刷が見えにくかったりした場合には、手を挙げて知らせること。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

4 年程前のことになるが、会社に事務のアルバイトにきていた大学生の女の子がいた。その女の子が来てまもないある日のことであった。僕の机の上には、仕事で使うために、外国の珍しいパッケージのお菓子やプレミアムがたくさん散らばっていた。

それを見かけたその女の子は、こう言った。「これ余ってたらもらっていいですか。ほら、私たち学生って、こういうレアものにも弱いじゃないですか。」僕は思わず言葉につまった。「えっ、弱いじゃないですかって、そんなこと知らないよ……」これが、僕が体験した「じゃないですか」の始まりであった。

その時は、あまりのこの「じゃないですか」のインパクトがすごすぎて、僕は「いや、あの、これは仕事で使うから……」と断るのがやっとならったが、時間がたつにつれ、その言葉に含まれるいろんな要素に対して憤りや不安が湧きおこってきた。

外国の珍しいお菓子が欲しければ、素直にほしいと言えばいいのに、それを「私たち学生って」と言うことで、一般論にしている。なぜ、個人的な欲望を、わざわざ、学生一般のこととして置き換えなくてはならなかったのか。それは、この女子学生が、その珍しいお菓子を欲しいと言うこと自体が、ずうずうしいという事を内心、わかってしまっていて④のうちにそれをごまかしたいからなのだ。

この言葉の力は、個人の欲望のカムフラージュにとどまらない。「じゃないですか」と言われたら（言った本人がそこまで意識してなくても）そのことを知って当然、というニュアンスまで生むことも多い。⑥、だれかがその言葉を使った途端、そのことが、既成の事実と化してしまう、実に巧みな言いまわしである。

15 ここまでが、この言葉使いに接した時の憤りの部分で、もうひとつ感じた「不安」というのは、このずるい言い方がとても使

利で、いろんな所に浸透しんとうしてしまう力があるということであった。

その不安は、残念ながら的中した。

学生を中心に始まったこの言葉使いは、まず若い会社員に拡がった。「こういう仕事って、⑧ じゃないですか」一般論とせず、なぜ自分はめんどくさいと言えないのか。「こう暑いと出かけるのがいやじゃないですか」なぜ、得意先に行くのが自分はいやと言わないのか。その内に、この言い方は中高年層にまで拡がってきた。「こういう案は上に通すのが難しいじゃないですか」なぜ、自分は上に通す自信がないと言えないのか。今や、言葉使いのお手本となってほしいアナウンサーやキャスターまでもがこう言っている。「不景気って政治が悪いからっていわれるじゃないですか」⑨ ニュース番組の中で同意を求めてどうするの。

25 当「毎月新聞」の編集長として私は、この「じゃないですか」隆盛⑩の状況を看過するわけにいかず、多少の誤解を恐れず、ここにその禁止を訴うったえるものであります。

言葉はまわりで使っていると知らないうちに自分も使ってるように、⑪とても感染力の強いものである。つい癖になってしまうものである。しかし、それによって、無意識に私たちが大切にしないではいけないことを損なっているとしたら、⑫それはとても危険なことなのである。

（佐藤雅彦『毎月新聞』（毎日新聞社）より）

問 1 ——線部①「こういうレアもの」が指し示す具体的な内容を、本文中から二十五字以内で抜き出し、最初の五字と最後の五字とを答えなさい。

問 2 — 線部②「僕は思わず言葉につまった」とありますが、その理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 最近の大学生の流行に全くついていけない自分を恥ずかしく思ったから。
- イ 言葉の言いまわしが聞き慣れていなくて、あまりに衝撃が強かったから。
- ウ その言葉に含まれているニュアンスに対して、憤りや不安を感じたから。
- エ 会社にアルバイトに来てまもない大学生のずうずうしさにあきれたから。

問 3 — 線部③「いろんな要素」とありますが、これに当てはまらないものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 自分の意見が一般論であるかのようなニュアンスを相手に与えること。
- イ 便利で使いやすい言いまわしであるため、世の中に広まりやすいこと。
- ウ 自分の意見を明確に主張しないので、主体性がなくなってしまうこと。
- エ すぐにその言葉の使用を禁止しないと、誤解が広がる表現であること。

問 4 — ④にあてはまる語として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 不可解
- イ 不条理
- ウ 無意味
- エ 無意識

問 5 — 線部⑤「個人の欲望のカムフラージュ」とはどういうことですか。その説明として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 自分が欲しいと思う気持ちをはっきりと言わずに、誰もがそう思っているかのように装よそおおうとすること。

イ 自分が欲しいと思う気持ちを伝えるために、学生はすべてそう思っていると思ひ込ませようとする事。
ウ 自分が欲しいと思う気持ちだが、ずうずうしいのではなく、普通のことであると言い訳しようとする事。
エ 自分が欲しいと思う気持ちを、一般的な事であると伝えることで、巧みに言いくるめようとする事。

問 6

⑥ にあてはまる語として最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア つまり イ しかし ウ または エ なぜなら オ ところで

問 7

線部⑦「巧みな言いまわし」とありますが、このことを別の言葉で言い換えた部分を、本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問 8

⑧ に当てはまる慣用表現として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 手間がかかる イ 顔から火が出る ウ 耳にたこができる エ 口を酸っぱくする

問 9

線部⑨「ニュース番組の中で同意を求めてどうするの」とありますが、筆者の意見に従えば、この場合、アナウンサーやニュースキャスターは、どのように言うべきだと考えられますか。次の文の□にあてはまるように、簡潔に答えなさい。

「不景氣の原因は、□」

問 10

線部⑩「看過」とほぼ同じような意味を表わす語句を次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 同調 イ 拒絶 ウ 黙認 エ 否定

問11 ——線部⑩「感染力の強い」とありますが、これとほぼ同じような内容を表わす部分を、これより前の本文から十七字で抜き出しなさい。

問12 ——線部⑫「それはとても危険なことなのである」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 自分の欲望や主張を一般論として話すことで、自分の語る言葉が常にと真実であると錯覚してしまうことになるから。
- イ 自分の欲望や主張を一般論として話すことで、自分の言葉に対する責任感や主体性を失ってしまうことになるから。
- ウ 自分の欲望や主張を一般論として話すことで、アナウンサーやキャスターになった気がしてしまうことになるから。
- エ 自分の欲望や主張を一般論として話すことで、言葉の感染力の強さを利用して世間に広めてしまうことになるから。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

飛行機に一人で乗るのは、初めてじゃない。

おばあちゃんの家に、最初に一人で行ったのは九歳の夏だった。それから毎年、行ってる。これで三回目になるわけだ。おと
といまで、ハハが①ついてくることになってただけ、直前になって仕事でだめになった。よくあることだ。

5 くだんハハなんて呼んでないから変な感じ。「家でママと呼んでも作文のときは母と書きましょう」と、三年のときの担任のフクオカ先生が言っていた。そう言われたからって、母と書くのもなんだか恥ずかしいからカタカナにしてみたけど、どうだろう、あんまり気持ちよくないね、これ。

ハハがついてきそうになったのには、理由がある。

今年、夏休みが終わっても、ぼくは東京に帰らないで、九月から、広島県福山市松永まつながの小学校に通うことになる。松永の学校へ行って、手続きをしたりなんかするので、ハハはいつしよに来ると言っていたけど、手続きは二学期の始業式でもいいってことになって、ぼくは一人で飛行機に乗った。

10 ②九月のことを考えると、ちよつと暗くなりそうだった。でもまあ、まだ先の話だ。向こうに行ったら、いつもの夏休みみたいに、おばあちゃんのところでのんびり過ごせばいい。

あんまり先のことを考えると、落ちこむかもしれない。それは困る。そんなのはすごく困る。

だからぼくは、余裕を見せるために座席横のボタンを押してキャビンアテンダントのお姉さん呼び、

15 「りんごジュースをください」

と言ってみちやったりした。

かなり余裕が見えたはずだ。少なくともちよつとした余裕は。いや、もしかしたら、虫眼鏡むしめがねでやつと見えるくらいの余裕だったかもしれないけど。

20 先のことを考えないようにすると、今度は前あったことが④頭の中に浮かんできて困った。どっちにしても困らないでいるわけにいかないらしい。

五年三組の一学期はめちゃくちゃだった。

みんなが勝手にしゃべりまくって、歩きまわってる連中もいて、

「みんな、静かにしてください。席について、ちゃんと自習してください」

とか、言わなくちゃならないんだよ、ぼくは学級委員だから。

25 「うるせえ」

そう、ぼくに言ったのは誰だったっけ。覚えてるけど、思い出したくない。ほんとは、もつといやなことだっただってあった。ほん⑤とにろくなこと思ひ出さないな。というか、ろくなことがなかったんだ、五年の一学期は。

「なんとかしろ、学級委員！」

30 そう言ったのは、担任のイケクラ先生だ。そんなこと言われたって、先生になんとかできないものを、ぼくにどうにかできるわけじゃないじゃないか！

ぼくの行っている東京の学校の五年三組は、先生が授業をしようと思っても、泣いたり騒いだり教室を出てっちゃったりする人もいて、先生はそれを追っかけてやつぱり出てっちゃったりするので、授業にならない。

学級委員のぼくは、先生には「なんとかしろ」と言われるし、クラスの連中には「いい気になるんじゃないか」とか言われて、どうしたらいいかわからなくなり、気がついたら、声が出なくなっていたのだった。⑥

35 四年の三学期もぼくは学級委員だった。すごくいやだった。終わったとき、ああ、やっと解放だ、と思ったのに、「学級委員

なんて星野(ほしの)でいいじゃん」と誰かが言っつて、——ていうか、覚えてるけど、思い出したくない誰かが言っつて、——五年になつてまた悪夢が続いたのだった。

お医者さんに言つたら、ストレスでしようとか、言つてた。

「チューカンカンリシヨクみたいな悩みと症状だな。いや、ボクもさ、髪がごっそり抜けたんだよ、課長になつてから」

40 そうパパが言つたら、——めんどくさいから、チチとかハハとかは、やめた——

「そんな他人(ひと)事(こと)みたいない方(かた)よくできるわね」

とママがものすごく怒つて、家の中の空気(くわい)が超悪(こ)くなった。コマーシャルに出てくる、におい鑑定(かんてい)の眼鏡のおばさんだつたら、一発で「BAD!」と言(い)うくらい、空気悪(こ)かつたと思う。

45 結局、五年生の一学期は、ほとんど学校に行けなかつた。行きたいと頭では考えるんだけど、行こうとすると、息が苦しくなつて、声が出なくなつたり、急に、まわりが見えなくなつて、ぶつ倒れたりとかする。

こんなのすごいやだ、と思つてたこともあつたんだけど、もういいや、行けないなら行けないで、とあきらめていた時期もあつた。一学期の最後のほうなんかは、ぼくは一生(いっせい)こうなんだろうな、そういう人生もありだよな、と思つてた。

だけど、あの夜からはちよつと、変わったね。

50 トイレに行きたくなつて起きたら、キッチンから明かりが漏(も)れていて、パパとママが深刻(しんせつ)そうに話(わ)しているのが聞こえてきた。

「わたし、もうどうしたらいいかわからない」

ママの声だ。ついでに、⑩とテーブルに頭をぶつけるみたいな音(ね)もした。

パパはビールかなんかを飲んでるみたいだつた。ウイスキーかな。

55

「しかたない。二学期も休ませるか」

「そんなの問題解決にならないわよ！」

「ボクに当たらないでくれよ。先生はどう言ってるの？」

「『来られるようになったら来てください』だって。だけど、あの子が学校に行けなくなった原因は、学校のほうにあるのよ。『来られるように』なってもう一回学校に行けば、また『来られなく』なるのよ。ポンポンテキな問題は、うちのほうじゃなくて学校にあるのに。なんだかわたし、くやしい」^⑫

60

「どうだろう、いつそ転校させてみたら」

「やめてよ！ そんなの、あの子に、ザセツカンを植えつけるだけだわ」

「そう決めつけることも、ないんじゃない？」

「あの子がああなったのはセキニンカンが強いからなのよ。逃げ出したって思ったら、心に傷を負うわ」

⑬ 氷の音がした。ママもウイスキーかなんかを飲んでいたので。

65

ぼくは ⑭ トイレに行って、それから部屋のベッドにもぐりこんだ。

ザセツカンってなんだ？ ポンポンテキとは？

よくわからないけど、心に悲しい人工の管くだみたいなのが、手術でくつつけられてしまうような感じがした。その、体に、ポンポンと。

ザセツカンだけはやめて、パパ。

70

ぼくは心からそう思った。

その日からぼくは、ひたすらザセツカンに関して考え始めた。図書館で大きな辞書を引いたら、「ざせつ＝途中でやめる。こしくだけ」と書いてあった。

思っていたのと、ちょっと印象が違ったけど、コシクダケ、というのなんか悲しい響きの言葉だったので、それ以来ぼくは、コシクダケもやだなと思うようになった。子どもがシイタケの上で⑮泣いているような感じがした。

ほんとのことを言うと、転校も悪くないかなと、パパの一言を聞いたときは思ったんだ。だけど、もしぼくが「転校したい」なんて言ったら、ママが「そんなのはザセツカンを植えてコシクダケの上で泣くようなものです。そんな子に育てた覚えはない」と怒りそうな気がした。

どうして、転校もいいかなと思ったかっていうと、それは。ええと、友だちが。

ええと、それは。そうだな、またの機会に話すことにしよう。

とにかく、一学期はそうやって過ぎてしまい、夏休みに入った。

夏休みには、もともと、おばあちゃんの家に行くことになっていた。

だから、そのことかなんかで、ママがおばあちゃんに電話した日だったか、なんのときだったか忘れたけど、また夜、パパとママが深刻に話し合いをしていて、

「どうかなあ、あそこなら、アヤが先生してるし、^{だいすけ}大輔もなれているし」

「そんな短期間でもあずかってくれるの？」

「頼めばね。頼めばなんとかなるかもしれない」

とかいう会話が聞こえてきた。

そして、その週の日曜日の夜、パパに、

「大輔、どうだろう？ 二学期だけ、松永のおばあちゃんちのそばの小学校へ行ってみないか？」

90 と、きかれたんだった。

「転校じゃないのよ。逃げ出すのとは違うの。だけど、いまの状態じゃあ、二学期になっても三組には行けないでしょ？ そ

うすると勉強も遅れちゃうし、だいいちつまんないじゃない？ だから、ちょっと、そうね、留学みたいな感じよ」
「リユウガク？」

95 「中学生とか高校生になると、外国に留学したりするでしょ。それでまた日本の学校に帰ってくるでしょ。交換留学生とかっていつて。ああいう感じ。二学期だけ、違う小学校に行ってみるの。楽しそうじゃない？」

「問題は、パパとママがいつしよじゃないってことなんだ。もちろん、休みをとって会いに行くよ。でも仕事があるから、ずーっといつしよにいるわけにはいかない。ただ、おばあちゃんがいる。おじいちゃんもいる」

「ダイちゃん、松永のおばあちゃんち、好きよね。だから、もしかしたら、楽しいかもしれないと思ったの。少なくとも、ここで毎日、一人でいるより」

100 そうか。ママは心配なんだ。そのとき、ぼくは気づいた。

ぼくが一人で家にいると。友だちといつしよに過ごしていないと。

夏休みが終わって、あの教室にまた入っていくことを想像してみた。よくわかんないけど、うんざりした。ていうか、いやなことがいっぱいあったんだよ。ここには書かないけどね。読んだってしょうがないでしょ、そんないやな話はさ。

105 やっぱり、二学期になっても、ぼくは三組に行く気にはならないだろう。行く理由がない。すごく怒られたり、嫌味を言われたりするだけで、ちっともいいことがないのに。

「おまえは学級委員なんだから、みんなのことを考えろ。困ってるやつがいたら、助けてやれ」とイクラ先生は言った。でも、ぼくは知ってる。

ぼくがいなくて困る人なんか、いない。

だいいち、ぼくは誰のことも、助けてなんかやれない。

110 学級委員の仕事は、学級会の司会をしたり、学級委員会に出席したりすることで、先生の助手じゃないんだから。

ぼくにそんなことをやらせようなんて、おかどちがいだよ！

⑩「おかどちがい」っていうのは、梅ヶ丘^{うめがおか}のおばあちゃんがよく言う言葉で、「タムラさんもカイランバンのことで文句があるなら、ワタナベさんに直接言えばいいのに、なんでもかんでもわたしに言ってくるなんて、おかどちがいよねえ」とかいう感じに使う。

115 「いいよ。松永のおばあちゃんちに行く」

ぼくがそう言っていると、パパとママは顔を見合わせた。

「やってみる？」

「うん」

「そう。そうね、それがいいわ。八月になったら、パパとママといっしょに行きましょう」

120 それでまあ、しつこいようだけど、ぼくは一人で飛行機に乗った。

パパもママも仕事で来られなくなったから。

（中島京子『ハブテトル ハブテトラン』「ポプラ社」より）

問 1 —— 線部①「ハハがついてくることになってた」のは何のためですか。本文中の語句を用いて、三十字以上四十字以内で答えなさい。

問 2 —— 線部②「九月のことを考えると、ちよつと暗くなりそうだった」のはなぜだと考えられますか。その理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 先生に怒られたり、クラスメイトに嫌みを言われたりした学校生活が始まる二学期のことを思い浮かべると、つらい気持ちになるから。

イ 新しい学校での生活が始まる二学期のことを考えてしまうと、いろいろなことに対して不安な気持ちになり、気がふさいでしまうから。

ウ 新学期からも、勝手にしやべっていたり、歩き回ったりしているクラスメイトに学級委員として注意することがわずらわしかったから。

エ 新学期が始まると、苦しみや悲しみの多い学校生活が再開し、毎晩のように悪夢を見続けることになるかもしれないのが恐かったから。

問 3

——線部③「もしかしたら、虫眼鏡でやっと見えるくらいの余裕だったかもしれない」とありますが、それはどういうことですか。その説明として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 丁寧に探せばやつのことで見つかるようなわかりづらい所に、気持ちのゆとりがあるということ。

イ まるで自分が昆虫でもあるかのように他人からじっと見られていて、心にゆとりがないということ。

ウ しつかりと観察をすれば確かに存在していることがわかるような気持ちのゆとりであるということ。

エ 拡大をして見てみなければわからないほど、ほんのわずかな気持ちのゆとりでしかないということ。

問 4

④・⑨・⑩・⑬・⑭・⑮にあてはまる語句として最も適切なものを、次のア～カの中から一つずつ選び、その記号を答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

ア どんどん イ しくしく ウ ガンツ エ カラカラ オ ぼそぼそ カ こっそり

問 5 — 線部⑤「というか、ろくなことがなかったんだ、五年の一学期は」とありますが、ここで用いられている表現技法として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 擬人法 イ 直喩法 ウ 隠喩法 エ 倒置法

問 6 — 線部⑥「声が出なくなっていた」とありますが、その原因は何ですか。本文中から四字で抜き出しなさい。

問 7 — 線部⑦「また悪夢が続いた」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 再び担任の先生からクラスの状態をなんとかしろと言われたということ。
イ 再びクラスをまとめなければならぬ学級委員に選出されたということ。
ウ 再び授業がめちやくちやで成り立たないような状態になったということ。
エ 再びクラスメイトからひどい陰口をたたかれるようになったということ。

問 8 — 線部⑧「空気」とは違う意味で用いられているものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 映像から事故現場の緊迫した空気が伝わってくる。 イ 彼の発言によって、温かい空気が辺りをつつんだ。
ウ そのときの会場の空気を読み、話す内容を選んだ。 エ 彼女にとって彼はまるで空気のような存在だった。

問 9 — 線部⑩「ボンポンテキ」とありますが、正しくはどのような言葉であったと考えられますか。漢字三字で答えなさい。

問 10 — 線部⑫「なんだかわたし、くやしい」とありますが、なぜそのように感じたのですか。その理由として最も適切なものを

次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 「ぼく」がいつになつたら学校に行けるようになるかは誰にもわからないのに、適當なことを無責任に言い放つ学校の対応にいら立ちを感じたから。

イ 「ぼく」が学校に行けなくなったのは責任感が強いからなのに、それに気がつかず挫折感を植えつけようとする学校の対応にいら立ちを感じたから。

ウ 「ぼく」が学校に行けなくなつてしまつた原因は学校側の対応にあるのに、そのことをまるで理解していない学校側の発言にいら立ちを感じたから。

エ 「ぼく」がいつ学校に行けるようになるのかは学校の対応しだいなのに、父親に八つ当たりをするかのような学校側の発言にいら立ちを感じたから。

問11 — 線部⑯「おかどちがい」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 心得違い イ 見当違い ウ 行き違い エ 食い違い

問12 本文の説明として適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 新しい学校生活に期待を込める「ぼく」の気持ちに対し、母親の否定的な考えが、それぞれの視点から対照的に描かれている。

イ 「ぼく」のつらい学校生活について淡々と語ることで、かえつてその悲壮感が増し、救いようのない悲劇として描かれている。

ウ 学校生活に苦しみながらも、母親の言動に振り回されてしまう「ぼく」の気持ちが、本人の視点でユーモラスに描かれている。

工 思い出したくもない学校生活の様子が包み隠さず語られる中で、「ぼく」の気持ちに変化していく過程がリアルに描かれている。

三

あとの問いに答えなさい。

問 1

次の①～⑤の文の——線部のカタカナを適切な漢字に改めなさい。

- ① 気象庁はドシヤ災害に警戒するように呼びかけた。
- ② 新記録コウシンの期待がかかった試合で、見事なホームランを打った。
- ③ 東京都は五輪シヨウチの実現を果たした。
- ④ 連日のモウシヨで、アイスクリームがよく売れている。
- ⑤ 富士山が世界遺産にニンテイされた。

問 2

次の①～⑤の空欄に漢字一字を入れ、下の意味に合う四字熟語を完成させなさい。

- ① 一日千□ ……〔意味〕人や物事の到来を待ちこがれることのとえ。
- ② 不□不満 ……〔意味〕気に入らないことがあって、心が穏やかでないこと。
- ③ 前□多難 ……〔意味〕将来に多くの困難が待ち受けていること。
- ④ 首尾一□ ……〔意味〕一つの態度や原理で、初めから終わりまでつらぬくこと。
- ⑤ 時代錯□ ……〔意味〕あまりに保守的で、現代の思想や傾向に適合しないこと。

問 3

次の①～⑤の空欄にあてはまる慣用句を、あとのア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 不正がないように□
- ② 野生動物の保護に□

③ 成績がよいのを

④ 明日からの三連休に

⑤ 自然破壊を目の当たりにして

ア 眉をひそめる

イ 目を光らせる

ウ 胸がはずむ

エ 心を傾ける

オ 鼻にかける

